

登録コード	MA730501	開講年度	2026			
授業科目名	リプロダクティブ・ヘルス看護学特別研究					担当教員 金井 誠
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Reproductive Health					副担当
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	月曜・3時限 月曜・4時限・不定期	対象専攻 / 学年 母子看護学領域 / 2年次
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	必修科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】 授業で得られる「学位授与の方針」要素 MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学) 【保健学】 保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。 保健学における国内外の研究の動向を理解するとともに、独創的な観点から研究課題を設定し、科学的論文を作成し、グローバルな情報発信を行うことができる					
(2)授業の概要	女性並びに子どもの生涯にわたる健康と看護並びに助産に関連した領域において、学生の主体的発想を重視した研究課題を練り上げ、研究計画を指導教員の指導の下に実施し、一連の研究成果を論文にする。 本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいる。 本授業は、担当教員の医療機関における産婦人科医としての実務経験を活かして講義を行う。					
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	リプロダクティブ・ヘルスに関連した研究課題を設定し、これに関連する最新の研究に関する情報収集能力・分析能力を身につける。 分析結果を踏まえて、倫理的配慮に基づいた研究計画書を作成し、これに基づきデータを収集する。 得られたデータの分析結果に基づき研究成果を論文としてまとめ情報発信する。 この一連の過程を通して、研究者としての研究能力を身につける。					
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	1. 研究課題および研究目的を適切に記述できる。 2. 研究課題におけるこれまでの国内外の研究の動向について情報収集し、分析した上で説明できる。 3. 研究課題の意義について説明できる。 4. 研究課題を達成するための研究デザインを適切に選択し、研究方法の信憑性や妥当性について説明できる。 また研究を進めるために必要な倫理的配慮を説明できる。 4. 研究計画書に基づき、適切なデータを収集できる。 5. 得られたデータを適切に分析し、不足しているデータについても気づくことができる。 6. 結果に基づき科学的な論文としてまとめ、情報発信できる。 7. 研究の限界について説明できる。 8. 行った研究課題をわかりやすくかつ論理的に発表することができる。また質疑応答に際して適切に回答できる。					
(5)授業計画	日時は受講学生と検討のうえ決定する。 1. 国内外の研究の動向を理解するとともに、独創的な観点から研究課題を設定し、研究計画書を立案してプレゼンテーションする。 2. 研究に関する倫理について必要な内容を含めて明確に把握するとともに、信州大学医学部医倫理委員会での研究倫理審査を受ける。 3. 研究計画書に従ってデータを収集する。 4. 収集したデータを分析してプレゼンテーションする。 5. 収集したデータから導かれた結果に基づいて修士論文を完成させ、学位論文発表会でプレゼンテーションする。					
(6)授業の進め方	プレゼンテーションと質疑応答を行いながら進捗状況を確認する。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回リーディング課題を課す。 授業開始直後にその理解を問う口頭試問を行うので、それに備えて課題をしっかりと読み込んでから授業に臨むこと。					
(8)成績評価の方法	一連の研究プロセスに則ってその過程が自律してできるか、問題が生じた場合にどのように対応して問題の解決にあたったか、さらに一連の研究内容が独創性に富んだものであるか、科学的に進められて論文作成に至っているかを総合的に判断する。 研究計画書と学位論文が作成された時点で、それぞれの作成過程およびプレゼンテーションと作成物を評価する。 評価点数は以下で採点する。 研究計画書；作成過程およびプレゼンテーション10点、作成物10点。 学位論文；作成過程およびプレゼンテーション30点、作成物50点。					
(9)成績評価の基準	評価基準は以下とする。 90-100点(秀), 80-89点(優), 70-79点(良), 60-69点(可), 60点未満(不可)					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問、相談は講義中もしくは終了後にいつでも受け付けます。 定時のオフィスアワーは設けていませんが、メールで連絡していただければ随時設けます。 連絡先；makotok@shinshu-u.ac.jp 研究室は中校舎3階にあります。					
【テキスト，教材，参考書】	随時紹介するが、各学生の研究テーマに関連する理論と、文献を収集すること。					